

統合医療施設**歯科領域と全身疾患の関係を研究
重金属汚染問題に取り組む歯科医院**

元町しもぎと歯科医院(神奈川県茅ヶ崎市)



米国の検査会社 TMI 社の分析結果で、水銀や鉛の濃度の高い人は、セレンやモリブデン濃度が相対的に低く、とくに自閉症と診断された小児の場合は、水銀濃度が突出して高いというデータがある。水銀曝露の原因の一つに虫歯などの治療で歯に詰めるアマルガムという歯科材料がある。肉類を好む偏った食生活を続けていると、唾液が酸性化して、アマルガム中の水銀が微量ながら溶け出し、水銀蒸発となり体内に蓄積されることになる。

これら歯科充填材からの重金属汚染問題に取り組んでいる歯科医院に、元町しもぎと歯科医院(神奈川県茅ヶ崎市、院長：下里隆史)がある。下里院長は、金属アレルギーによる皮膚疾患や関節障害を、口腔領域のアプローチによって改善するなど、日常診療の傍ら、歯科と全身疾患との関連について研究している。

●皮膚炎の原因が口腔内にあった

「人体への重金属汚染について語るとき、必ず出てくるのが歯科で詰め物として用いられるアマルガムです。この素材は銀、スズ、銅、亜鉛などの金属を水銀で練って作られています。口腔内の唾液が電解液として作用すると、アマルガム合金に含まれる金属類がイオン化して、溶出してしまうのです。

素材の中でも、とくに濃度の高い水銀が体内に流出、蒸発し、腎臓や肝臓、脳などに蓄積され、疾患の原因になっていく恐れがあるとして、日本国内において使用を控える歯科医が増えているのが実情です。スウェーデンでは94年にアマルガム使用が全面禁止され、他の欧米先進国でも、使用禁止の措置がとられています。ただし、日本ではアマルガムが保険適用となっているため、全面禁止までには至っていません」。

診療現場では、重金属がタンパク質と結合して、金属アレルギーが引き起こされ、手足のかぶれやアトピー性皮膚炎、しみ、しわなどとなって現れるケースも少なくないという。

「ピアスや時計などによる接触性皮膚炎なら皮膚科でも金属アレルギーを診断しやすいのですが、歯が原因である場合、これを見い出すのは容易ではありません。皮膚炎を発症した患者が、皮膚科に行き、内服薬、軟膏で治療しても改善されなかったため、口腔内を調べたところ、歯髄炎がみつかった症例もあります。歯から細菌が全身に移り、皮膚炎を発症するケースでは、病巣である歯を治療しない限り根本的な改善は難しいでしょう」。

●女性に多い電磁波過敏症

化学物質過敏症は、発達障害や精神疾患の原因とみられているが、元町しもぎと歯科医院では、歯科治療と電磁波の関係について検証を行っている。

「アマルガムや、形状がロッド状になっているチタンインプラント体は、電磁波を吸収しやすい性質があります。とくに女性の場合、電磁波過敏症で悩まれている方が多いようです。携帯電話で話すと足元がふらつく、腕が上がりにくいなどの関節障害に悩まされている患者さんの歯の詰め物を除去すると、これらの症状が消失する場合があります。因果関係については、まだ詳しく解明されていませんが、血流障害が関係していることが推測

されます。今後は、歯科と医科の連携がますます重要になります。私自身も口腔領域と全身疾患の関連を研究しながら、医科歯科の連携を積極的に進めていきたいと考えています」。

●元町しもざと歯科医院

神奈川県茅ヶ崎市元町 18-1 柴田ビル 3 F

TEL : 0467-58-9595 FAX : 0467-58-9594

<http://www.shimozato-dental.com>